

令和 5 年 12 月 11 日（月） 20 時 から青葉区歯科医師会館にてデンタルミーティング

令和 5 年 12 月 11 日（月） 20 時 から青葉区歯科医師会館にてデンタルミーティング WEB 併用のハイブリッドで開催された。参加議員は、参議院議員比嘉奈津美先、生衆議院議員三谷英弘先生、県議小島健一先生、内田みほこ先生、市議鴨志田啓介先生、斎藤達也先生、横山正人先生、山下正人先生、小酒部さやか先生が参加した。神奈川県歯科医師連盟からは小川淳副会長、川越元久理事長、横浜市歯科医師会から吉田直人会長、小杉禎久専務理事、横浜市歯科医師連盟からは、佐藤信二会長が参加した。会員は過去最高の参加数 88 名であった。司会は青葉区歯科医師会連盟理事田中綾先生の進行にて開催した。

以下、デンタルミーティングの主な内容となります。

◎三谷英弘衆議院議員



<国民皆歯科検診について>

令和 4 年 6 月の骨太の方針に国民皆歯科検診について具体的な検討と、初めて国民皆歯科検診が明記され、令和 5 年の 6 月の骨太の方針には国民階歯科検診の取り組みを推進という形で記載されました。

令和 5 年の書き方は明らかに違っていて、今の状況は国民皆歯科検診の取り組みを進める状況にあります。それを踏まえた予算が認められているのですが、令和 6 年の概算要求の中で国民皆歯科検診を推進する事業がはじまります。歯周疾患検診の対象年齢の拡大として、現行の 40・50・60・70 歳に 20・30 歳を対象者に加えることとなりました。

「歯周病等スクリーニングツール開発支援事業」についても、唾液検査などの簡易キットを含めた新たな健診方策の開発や推進を行っていく予定です。また医科歯科連携のみならず障害児者等への歯科医療提供体制の整備や災害時・新興感染症発生時等の歯科医療提供体制の構築のための予算が設けられております。そして歯科保健医療において重要なパートナーである「歯科衛生士・歯科技工士の人材確保推進事業」は喫緊の課題であり、こちらも予算をうまく使えるように努力しております。

このように国民皆歯科検診については骨太の方針に従って毎年一步ずつ前進しておりますことご理解いただけますと幸いです。

<診療報酬改定について>

国会でも賃上げがテーマになっています。

歯科医院においては歯科衛生士などのコメディカルの給与を引き上げる事が大事です。

令和 5 年 12 月 11 日（月） 20 時 から青葉区歯科医師会館にてデンタルミーティング

そのために歯科医院の経営において診療報酬を上げることは非常に重要だと私も認識しております。歯科の先生方からの質問でもあったように歯科の保険点数は医科と比べるとまだまだ低いという声もありますので、私の方でお調べいたしました。

ここ 10 年で歯科の初診料や再診料は上がっておりますが、まだまだ医科と比べて低い部分がありそこを認識しながら取り組みたい。

<歯科医院の適正配置について>

歯科医院の適正配置の質問がありましたのでお調べいたしました。

令和 2 年 のデータでは全国に歯科医師は約 10 万人おり、全国で人口 10 万人あたり歯科医師数は 85.2 人に増加しました。

青葉区人口 10 万あたりの歯科医師数は 81.2 人は全国と比較すれば少ないですが、診療所数は人口 10 万人あたり全国 54.6 緑区 49.1 青葉区は 65.8 の歯科診療所があり全国的に多いです。

このような状況を踏まえて、国政でも歯科をバックアップできるような活動をしていきたい。

私もまだまだ歯科医療について、勉強しながら取り組みたいと思っております。

先生方が何が困っているのかを聞かせてもらいたいです。

是非課題を投げていただき、勉強していきたいのでよろしくお願ひいたします。

◎比嘉奈津美参議院議員



診療報酬のプラス改定の枠が少なくなるので、そういう事は絶対にしないように申し入れを早い時期にしてそれを防ぐことができました。

<歯科医療に対する政治活動について>

先ほど総理にお会いして、カトレア会という医療に携わる先生方と 5 人で診療報酬を守ってくれとしっかりと伝えて参りました。実は前回の診療報酬改定では看護の処遇改善、不妊症治療の保険適用が入ってきてそれが予算で取られたので、影響が大きかったです。

今回も入院患者の食事に関する保険適用の話が出てきたのですが、そうすると歯科の

令和 5 年 12 月 11 日（月） 20 時 から青葉区歯科医師会館にてデンタルミーティング

10 月頃には少子化問題に対して社会保障費を使う話がありましたが、医療現場から予算を取っていくことはとんでもないと、コロナが落ち着いたら取っていくのはありえないとたくさんの先生方が手をあげて賛同していただきました。

このようにカトレア会であったり、歯科問題議員連盟という自民党内で国会議員の皆さんにお勉強してもらい、厚生労働大臣や財務大臣へプラス改定のお願いをしていく活動をしております。

行政を動かす際にどれだけ歯科に理解を持ってもらい、発言をしてくれる仲間がいるからが大切になります。金パラの高騰についても、歯科の問題に理解ある仲間と共に総理に直訴して緊急改定を行ってもらいました。このように政治の世界で仲間を作るというのは非常に重要です。

災害時の身元確認や身体障害者の方の治療など多岐にわたる歯科医師の活動を広く議員の方に知ってもらうことで、賛同していただける議員が増えてきております。そうすることで診療報酬のプラス改定に向けての動きが加速されます。

診療報酬改定でプラス改定をしないと賃上げも難しい、歯科医院は機材などの投資で内部留保はない、そういう事情も国会議員の先生方にご理解をいただき、プラス改定をしていただくように活動しております。



令和 5 年 12 月 11 日（月） 20 時 から青葉区歯科医師会館にてデンタルミーティング

